[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

	科	目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
生化学		NSF12 001	必修	1	1	後期		
担当教員		研究室	電子メールI		オフィスアリ			
	-	久之	教員控室	kango	D	Teams 授業中に		
	八中田		V > 1,	_	et teteran			
エネルギー産生の					代謝過程について学ぶ。生体の 報が発現する過程を学ぶ。また			
授業	の目的・概要	、ホルモンの種類と作用						
		した同時双方向型授業に	おいて、総合講	評等のフィードバ	バックにより	理解を含める。		
学習	野上の助言	理解しづらい内容につい	ては、授業中お	よび Teams を使っ	て積極的に	質問し、理解を深	めて欲しい。	
教	科 書	基礎からしっかり学ぶ生	:化学 編著:山	口 雄輝、著:成	田 央/羊土社	t		
参	考 書	生命科学 改定第3版 編	: 東京大学生命	科学教科書編集委	員会/羊土袖	£		
		学生が達成すべ	き行動目標			関連卒業認定・	学位授与方針	
1	タンパク質の構造	iと機能につて説明できる。				NS(1)(5)		
2	核酸の構造と機能	について説明できる。				NS(1)(5)		
3		と機能について説明できる	5.			NS(1)(5)		
4		能について説明できる。				NS(1)(5)		
5	糖代謝について説					NS(1)(5)		
6	脂質代謝について		4 >*			NS(1)(5)		
7		が発現する過程について学 ステムについて説明できる				NS(1)(5) NS(1)(5)		
8	神胞内情報伝達ン	/ステムについて説明でさる		N ===		NS(1)(5)		
回		学習内容等		計 画 受業方法	学習:	課題・学習時間(『	井間)	
	タンパク質を積						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1					部分を読んでおく。			
	て学習する。			1	復習:授業2	内容を整理する。		
	RNA と DNA	議成するアミノ酸、ペプチド結合、 構造、四次構造および代謝につい 同時双方向型授業 の基本構造と機能について学習す 同時双方向型授業 同時双方向型授業 一同時双方向型授業 一同時双方向型授業 一同時双方向型授業 で習: 授業内容を整理する。 で習: 授業内容を整理する。	3< ° 3					
2	る。		同時)	以方问型授業 1	復習:授業内	内容を整理する。	3	
3	糖質と脂質の精	毒造と機能について学習す る	5。 同時	双方向型授業			3	
Ĭ	MA CHIER VIII	c pandi - 21 C 1 H 7 1	and ledudy		予習: 教科書第3章を読んでおく。			
	生体膜の構造と機能およびシグナル伝達につい		ik ou			夏習:授業内容を整理する。		
4	工学習する。	1双形のよいシンノル伝達	同時	双方向型授業			3	
				3	子羽 · 掛利 =	は笛 長音し 6 舎ナ	ap 2 .	
5	解糖系とクエン	こついて 同時			予習: 教科書第5章と6章を読ん でおく。 3			
_	学習する。		1.4.42		復習:授業内容を整理する。			
	脂肪酸とリン郎	賃賃、コレステロールの代謝	はこつい		予習・粉科圭	*筆8音を読んでも	34	
6		コル、ー・ハ/ ロ /20/1(時	同時刻	以 万同型授革	予習: 教科書第8章を読んでおく。 復習: 授業内容を整理する。			
				3	予翌・粉科車	第 10~12 章を読	んで	
7		青報が発現する過程につい	て学習 同時		ア 白 · 叙作音 おく。	2010 12 字で配	3	
	する。			1	復習:授業内容を整理する。			
	ホルモンの作用発現における細胞内情報伝		伝達シ		予習:教科書第 13 章を読んでお			
8	ステムについて		同時刻		く。 復習:授業内容を整理する。			
				1	攻日 · 1又禾/	1年で正任りる。		
試験	定期試験	Through Anni America						
L	達成度評価・評	評価のポイントを参照						

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

					達成度評価				
	₩ Δ	-	(0/)	試験	レポート	成果発表	ボ [°] ートフォリオ	その他	合計
総合評価割合(%)			100	0	0	0	0	100	
	知識	知識・技術力		70	0	0	0	0	70
総合力指標	思考	思考・推論・創造する力		30	0	0	0	0	30
	協調	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0	0
		発表・表現伝達する力		0	0	0	0	0	0
	コミ	コミュニケーション力		0	0	0	0	0	0
	取組	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0	
				評価のポイント				7	40+34
評価方法 行動目標				評価の	実施方法と注	意点		フィードバックの方法	
 試験 (4) イン (5) イラック (6) イラック (7) イクラック (8) イラック (9) イラック (1) イラック (2) イラック (3) イラック (4) イラック (5) イラック (6) イラック (7) イラック (8) イラック (9) イラック (1) イラック (2) イラック (3) イラック (4) イラック (5) イラック (6) イラック (7) イラック (8) イラック (9) イラック (1) イラック (2) イラック (3) イラック (4) イラック (5) イラック (6) イラック (7) イラック (7) イラック (8) イラック (9) イラック		定期試験で	は基礎的知識を問	引う問題と応用	的問題を出題	する。	試験結果の講 等の分析結果		
ポートフォリ オ		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ① ②							
その	他	3 4 5 6			備考				
					備考				

- ・Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。